

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 地理歴史		科目名 世界史探究		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期中間まで	諸地域の歴史的 特質の形成	○それぞれ特有の自然環境や地理的条件のもとで、言語や宗教を共通の基盤として、社会・経済制度や生活様式など独自の文化的枠組みをもつ地域世界が形成されたことを理解している。	○地域世界が外部の新しい思想・技術・芸術、政治・経済制度などと接触した場合でも、各文化的枠組みが何を取り入れるかのフィルターとして機能し、受け入れやすい触媒の役割を果たしたことを考察し、表現できる。 ○各地域の文化的枠組みの長期にわたる変化と、並行して政治的変動や技術の進展が進んでいったことを考察し、表現できる。	○諸地域世界の形成について、現代との関連を主体的に追究しようとしている。 ○人類史としての視点とよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
前期期末まで	諸地域の交流・ 再編	○各地域間の人・モノ・情報の移動を通じた交流が密度を増し、諸地域世界が多様で複雑なネットワークで結ばれ、それぞれの地域の内部構造が変容していく過程と内容を理解している。 ○主権国家体制の成立と資本主義の形成といった「近代」を構成する基本的要素の形成過程とその内容を理解している。 ○産業革命と交通・通信手段の革新などをもとに、資本主義の発展と工業化、世界市場の形成を理解している。	○前近代で成立した各地域・文化圏の動向をふまえつつ、近世・近代の始まりから世界の諸地域が、各特性を保持しつつ一体化して、国際関係が成立して歴史が形成されていく動きを、広い視野で多面的に考察し表現している。 ○16～18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して主題を設定し、各国や各地域の動向を比較したり相互に関連付けたりするなど考察している。また、16～18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、欧米諸国の活動などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○諸地域が交流を活発化させ、相互に影響を与えつつ再編を進めていった動きを、交易の拡大や都市の発達、文化・技術の伝播など様々な視点で主体的に追求しようとしている。

<p>後期プレ中間 まで</p>	<p>諸地域の結合・ 変容</p>	<p>○17～19世紀以降の欧米の市民革命や国民統合の動向など、近代市民社会の基本的な政治システムと国民国家の形成、列強の進出と植民地の形成、帝国主義政策とアジア・アフリカ諸国の変容を理解している。</p> <p>○国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソ連邦の台頭、民族運動、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付けている。</p> <p>○ナショナリズムの動向、総力戦、国際連盟の設立、第一次世界大戦後の国際協調体制の成立とともに世界恐慌、ファシズムの台頭などをもとに、第二次世界大戦にいたる過程を理解している。</p> <p>○第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制の確立、冷戦の始まりと非ヨーロッパ諸国の動向など、第二次世界大戦後の国際秩序を日本の国際社会への復帰を含めて理解している。</p>	<p>○産業革命の影響、イギリス市民革命、アメリカ独立革命、フランス革命の影響、国民国家の形成の背景や影響などに着目して主題を設定し、アジア諸国およびその他の国や地域の動向と比較したり、相互に関連付けたりすることができる。また、政治変革の特徴、それぞれの国民国家の特徴や社会の変容などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○帝国主義政策の背景やアジア・アフリカに与えた影響などに着目して主題を設定し、各国や各地域の動向と比較したり、相互に関連付けたりすることができる。また、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して主題を設定し、各国や各地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と、社会運動・民族運動との関連などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して主題を設定し、各地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の崩壊の要因などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して主題を設定し、各国・各地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。また、第二次世界大戦がもつ性格ともたらされた惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、国際情勢との関係などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○近代化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○国際秩序の変化や大衆化と私たちの生活について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>
----------------------	-----------------------	---	--	--

<p>後期中間まで</p>	<p>地球世界の課題</p>	<p>○冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>○脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などをもとに、国際政治の変容を理解している。</p> <p>○西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及などをもとに、世界経済の拡大と歴史の進展を組み合わせ理解している。</p> <p>○石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、エネルギー問題などを基に、資本主義経済の変容と課題を理解している。</p> <p>○冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の特性と課題を理解している。</p>	<p>○地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して主題を設定し、各地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響などに着目して主題を設定し各地域の動向を比較し、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して主題を設定し、各国・各地域の動向を比較し、相互に関連付けたりすることができる。市場経済のグローバル化の特徴と問題点、日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○冷戦の推移と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景などに着目して主題を設定し、各国・各地域の動向を比較・関連付けて理解している。資本主義経済の変容と冷戦終結後の国際政治の特徴について、日本の役割も含め多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○新自由主義への関心の高まりと世界規模での各国内外の所得格差、深刻な経済危機などに対して、共同性の回復や福祉国家の役割を見直す動きについて多面的に考察し、表現している。</p>	<p>○冷戦の終結と地域紛争・民族対立の頻発、様々な経済格差の深刻化について、歴史的に形成された地球世界の課題という視点から、主体的に追求しようとしている。</p> <p>○グローバル化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
---------------	----------------	--	--	--

後期期末まで	総合的な学力の定着	○各時代・地域ごとの復習を行い、重要事項を確認し、世界史・人類史全体の枠組みを理解する作業につなげ、様々な角度からテーマに応じた思考作業ができるようになっている。	○人類史としての歴史という観点から、古代から現代的な諸課題にいたるまで多面的・多角的に考察し、表現している。	○世界の歴史を振り返り、地球世界での課題を抽出・分析し、未来に踏み出そうとする主体的な姿勢をもって追求している。
主な評価方法		定期考査	定期考査 レポート等論述文の作成 発表作業	行動観察（出席、授業態度） レポート提出、発表作業
その他				